

やまきたまち 議会 だより

議会の^oおと

- P 2～7 …様々な独自のコロナ対策
P13 …議会広報モニターの声
P15 …あり方検?ってなんだ??



待ちに待った登校再開
山北中学校PTA (関連記事は裏表紙に)

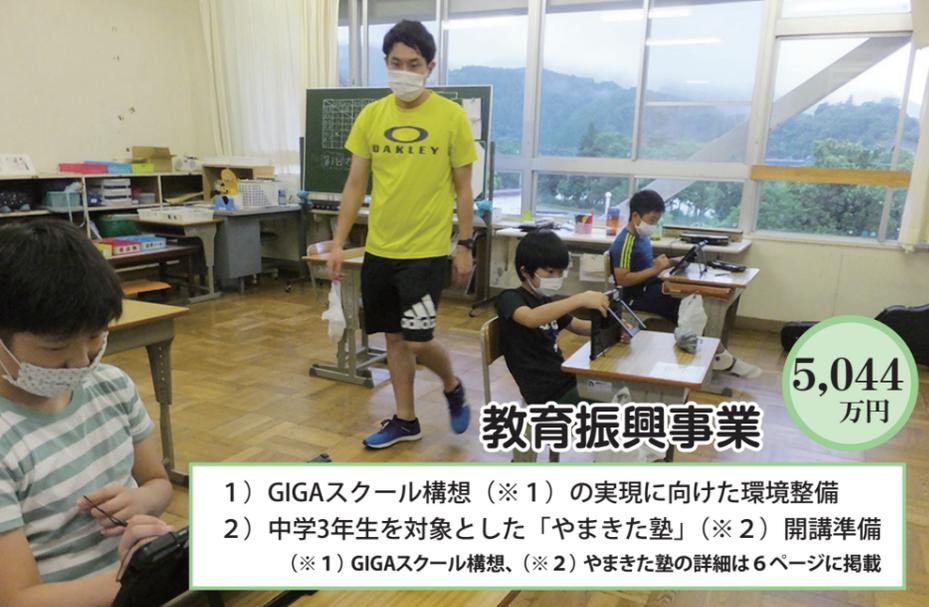


6月 定例会 Pick up

中小企業・小規模事業者等 緊急支援金 **6,180** 万円

持続化支援助成金とは別に、町内618社に対し支援金を給付する
町内618社：一律10万円

令和2年第2回臨時会（5月15日）、第3回臨時会（5月29日）及び令和2年第2回定例会（6月10日～12日）を開催し、主に新型コロナウイルス感染症対策に関する議案を審議しました。
また、6月定例会における新規条例の制定は、総務環境常任委員会に付託し審議しました。
（審議内容は6ページに掲載）



教育振興事業 **5,044** 万円

1) GIGAスクール構想（※1）の実現に向けた環境整備
2) 中学3年生を対象とした「やまきた塾」（※2）開講準備
（※1）GIGAスクール構想、（※2）やまきた塾の詳細は6ページに掲載



子育て世帯臨時 特別給付金事業（追加） **877** 万円

国からの給付金子ども1人につき1万円に、町から1万円をさらに上乗せし給付する。

教育環境の整備へ

町内事業者支援と 新型コロナウイルス感染症に伴う補正予算を可決



5月 臨時会 Pick up

中小企業・小規模事業者等 持続化支援助成金 **3,600** 万円

国の持続化給付金制度に該当しない、売上額が前年同月比20%以上50%未満減少した事業者への助成金
中小事業者：20万円 個人事業者：10万円



小中学校への支援 **862** 万円

1) 自宅学習支援としての課題購入費
2) オンライン授業用撮影機器購入費
3) ネット環境がない家庭へのWi-Fi機器無償貸出し



感染症予防に要する経費 **289** 万円

マスク、防護スーツ、消毒・除菌剤、体温計などの購入費

第3回臨時会 (5月29日) 町三役 (町長・副町長・教育長) 6月期末手当 20% 削減提案

否決

イベント等の見直し

「コロナウイルス対策に伴い、今回だけでなく、この先のイベント等は、中止や見直しが必要とと思うが。」

町長 この先のイベント等については、これを機会に見直し、収支のあり方等についても研究したい。

経済再生への取り組み

中小企業・小規模事業者等緊急支援金の支給時期は。

景気回復の一環として、町内クーポン券の発行などの考えは。

町長 今後、商工会等と相談しながら町内クーポン券などがあれば検討していきたい。

不急の事業は次年度以降へ

今年度で閉校となる三保小学校に対し、修繕費が翌年度へ繰越しになっているが、内容は。

教育長 体育館器具庫他の床板修繕を計画している。不要不急ではないものの、体育館はこの先も避難所として継続して利用していくことから翌年度対応とした。



子育て世帯に追加支援

子育て世帯臨時特別給付金事業は、国からの給付金に追加給付ということか。

福祉課長 今回の給付は町独自の施策として、国からの給付金子ども1人1万円に追加して、1万円を上乗せ給付するものであり、対象者も同じである。



新型コロナウイルスに係る緊急対策の財源に充てるということで、町三役の期末手当の減額の条例改正案が提出されたが、議会では町の財政収支や使途が不明であることなどの意見があり、結果としては賛成6名、反対7名で否決となりました。

主な質疑

新型コロナウイルス対策は三役が期末手当の減額をしなくてはできないものなのか。

町長 できない訳ではない。教育関係の支援策(やまきた塾等)に充当できればと考えている。

20%の減額とした根拠は。差をつけるべきではないか。

副町長 以前は、町長20%、副町長15%、教育長10%としたこともあったが、新型コロナウイルスに対しては一律20%とした。

三役の減額合計は約100万円となるが、町の収支が見えてないこの時期に減額することは、ただのパフォーマンスではないか。

町長 そうは考えていない。経験したことのない事態であるため、今後のために早い段階で対応したいと考えている。

新型コロナウイルス対策は、今回だけではなく長期に及ぶ。町単体での対応より、足柄上郡広域で何か別の対策を立てたほうがいいのではないか。

町長 広域での対策は現時点では行っていないが、他町とは情報交換を進めながら長期的な視点で対策を講じていきたい。

反対意見の主なもの

- ◆ 減額は時期尚早であり、町の財政収支が明らかになった時点で、必要な対応を講じればいいのではないか。なお、その際は議会も同様に考えていく必要がある。
- ◆ 三役一律20%削減の根拠、利用目的が不明確ではないか。
- ◆ 現時点で町の財政状況は不明であり、このタイミングでの減額はパフォーマンスに感じられる。

反対

「減額は時期尚早では」

清水 明

コロナ対策については、今後まだまだ大変な時期が続くと思われる費用もかかる。これから長期の対策を講じなくてはならないときに、町としてどうするか、公の場で対策を立てるべきである。また、他の町でも期末手当の減額や給与の3か月分減額の動きもあるようだが、町民から見ればパフォーマンスととられかねないのではないか。三役は常に日々先頭に立って勤務に励まれている中で、あえて期末手当を減額して、さらにコロナ対策に向かうという気持ちは、今は表すべきではない。

賛成反対討論

賛成

「スピード感ある対応を」

児玉洋一

山北町にとって今一番重要なところは、町の経済の再生、学校の教育復旧等に向けたスピード感を持った対応であり、一番町民に求められていることではないか。少しでも早く安心して暮らせる日常を取り戻すべく、今回の町の姿勢を評価したい。

討論とは

議案に対する「賛成・反対」の旨と、その理由を述べて他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言。

議案等審議の結果

第2回 臨時会（5月15日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度 山北町一般会計補正予算（第2号） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、増額補正するもの	可決	専決処分の承認について（令和元年度山北町一般会計補正予算（第8号）） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、増額補正するもの	承認
令和2年度 山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、補正するもの	可決	専決処分の承認について（令和元年度山北町一般会計補正予算（第9号）） ・地方譲与税、地方交付税額確定等に伴い、増額補正するもの	承認
専決処分の承認について（国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について） ・新型コロナウイルス感染症に伴い、傷病手当金の支給を定めるもの	承認	専決処分の承認について（令和元年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第4号）） ・下水道使用料減少に伴い、減額補正するもの	承認
専決処分の承認について（山北町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について） ・関係政令（上位法）の改正に伴い、補償額を改正するもの	承認	専決処分の承認について（令和2年度山北町一般会計補正予算（第1号）） ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う、特別定額給付金を支給するために増額補正するもの	承認

第3回 臨時会（5月29日）

件名	審議結果	件名	審議結果
山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 5ページに掲載 ・町三役の期末手当(6月)の減額を行うもの	否決 (賛成少数)	令和2年度 山北町一般会計補正予算（第3号） ・山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定否決に伴い撤回	撤回

☆賛成・反対があった議案(第3回臨時会)

議案件名	議員名（議席順）												
	瀬戸恵津子	山崎政司	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	児玉洋一	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

第2回 定例会（6月10日～12日）

件名	審議結果	件名	審議結果
山北町原耕地地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について 6ページに掲載 ・新規条例の制定に関するもの	可決	令和2年度防災行政無線デジタル化屋外子局整備工事（山北・岸・向原・清水地区）請負契約の締結について ・工事請負契約を締結するもの	可決
山北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について ・関係省令（上位法）の改正に伴い、文言追加するもの	可決	町道路線の廃止について（No.67号 谷ヶ小山線） ・使用状況にあわせて町道を整理する必要があるため、廃止するもの	可決
山北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について ・関係政令（上位法）の改正に伴い、賦課限度額を改正するもの	可決	町道路線の認定について（No.67号 谷ヶ小山線 外2路線） ・現状にあわせて町道の整理をする必要があるため、関係路線を町道認定するもの	可決
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入減が見込まれる対象世帯の保険料減免等を行うもの	可決	山北町人権擁護委員の推薦について ・任期満了に伴い、委員を推薦するもの 「石田玲子」氏、「小高達夫」氏の2名	同意
山北町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について ・県条例（上位法）の改正に伴い、文言改正するもの	可決	令和元年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について ・災害復旧費等、前年度予算を今年度に繰り越すもの	報告のみ
令和2年度山北町一般会計補正予算（第3号） ・新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、増額補正するもの	可決	令和元年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告について ・公社の事業及び決算を議会に報告するもの	報告のみ

立地条件緩和で新たな可能性へ

本会議に上程された「山北町原耕地地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定」は総務環境常任委員会に付託され、委員会にて条例審査を行い、本会議において全員賛成で可決した。

新規条例審査

<この条例のポイントは？>

原耕地地区の一部（商業施設）において、建築物に関する制限を定め、適正な都市機能と健全な都市環境を確保するもの。

Q 用途指定ではないのか
A 都市整備課長 県との協議の結果、人口減少の中で、用途指定するのは得策でないとのことで、地区計画を策定する方向に至った。

Q 現在緑化率20%で本条例では緑化率10%以上としたのは新たな可能性を示しているのか。
A 都市整備課長 周辺の土地利用や自然環境との調和に配慮しつつ、立地条件の緩和による企業進出促進で利便性の向上を図っていきたい。



条例の対象となる原耕地地区商業施設の緑地

GIGAスクール構想ってなに？

義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する国の5年間の計画があり、町では新型コロナウイルス対策等に伴う教育環境整備のため、従来の計画より前倒しで実施する。



「やまきた塾」ってなに？

新型コロナウイルスに伴う臨時休業により、学習の不安をサポートするために今年の7月より中学3年生を対象に、「英語」と「数学」の学習支援塾がはじまりました。

① 実施日：来年の1月まで金曜日を中心に全24回
② 講師：広域通信制「鹿島山北高等学校」を運営している（株）山北学園の教諭。



生涯学習センター
※「鹿島山北高等学校」…旧三保中学校の跡地を利用し、通信制高等学校として平成29年に開校。令和元年度の生徒数は693人です。

新型コロナウイルスに伴う教育環境整備

問 子どもたちの学習機会が保障される環境を
答 学習動画の配信など活用を進める



和田 成功 議員

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校の臨時休業が長期化し、子どもたちの学びの保障・学習格差等が危惧される。

今後、感染拡大の第2波・第3波も懸念されるが、臨時休業中であっても、学習を支援するための可能な限りの措置を講じることが不可欠である。

子どもたちの学習環境の確保は喫緊の課題であると考え質問する。

川村小学校と山北中学校では、環境が十分整っていない家庭に機器の貸し出しを行い、学習動画の配信だけでなく、課題の配信や回収、健康観察等にも活用している。

三保小学校では、双方向オンライン授業を実施し、今後も活用できると考える。

「心身や生活のアンケート」を実施し、心の状態を把握し、継続的に児童生徒の心のケアに取り組んでいきたい。



児童生徒が規則正しい生活習慣を身に付け、学習や学校との関係を継続する事ができるように取り組みがなされているのか。



健康福祉センターも避難所として検討中

指定した避難所以外に、公施設や地域施設を避難所として開設することも検討している。受付では検温に加え、体調を確認し、手洗い・咳エチケット等の感染防止対策の徹底に努める。

避難所の円滑な運営をするため、(※)リスクアセスメントや感染拡大防止措置対策等はどう考

問 避難所運営における感染症対策を
答 感染防止対策の徹底に努める

体調等配慮を要する避難者等に対し、避難所に保健師等の配置が必要では。

避難所開設が長期化する場合は、保健師等が避難所を巡回し健康状態等を確認するよう取り組んでいきたい。

公助の取り組みは。

備蓄品等の整備や避難所の円滑な運営に努め、防災力のある町にしていきたい。

(※)リスクアセスメント
 リスクの特定・分析・評価
 を網羅するプロセス

問 山北町内全戸を含む町民にとって適切なWi-Fi環境を
答 役場庁舎ほか公共施設などに整備をしていく



堀口 恵一 議員

今回新型コロナウイルス問題で3密行動が制限され、代替の活動が推進され、テレワーク、オンライン診療、オンライン教育、テレビ会議、オンラインでの見守りなどの現実性、実用性、重要性が示された。また各個人、各家庭のWi-Fi環境問題も露呈された。

山北町では既に光回線が三保地区など山地も含め敷設されているが、町内各戸全部がWi-Fi機器を利用できる状況にはなっていない。ここに情報格差要因がある。また、合理化、情報化、情報機器高度利用が進まない原因があると考え、

そこで質問する。



Wi-Fi設備設置で防災対策向上へ

「防災対策」を目的として町が指定する避難所や、「住民サービスの向上」を目的として役場庁舎、生涯学習センター、健康福祉センターなどを中心に整備していく。

町内公共施設にWi-Fi環境があれば、そこに向いて利用することができる。また災害時にも利用することができる。ふるさと交流センターなど3ヶ所には既に設置されているが、それ以外の町内公共施設へのWi-Fi設備設置についてはどう考えているか。



Wi-Fi設備設置で住民サービス向上へ

山北町内全戸にWi-Fi環境が必要と考えるが町はどう考えるか。

将来的には医療、福祉、健康、子育て、見守りなど様々な分野での活用も期待されるが、現時点では全戸にまでは必要ないと考える。



現時点で町が後方支援する考えはない。

光回線は、町内全域に敷設されているが、おおよそ月額6000円と高額であるため十分利用されていない。組合を作り、1軒分の回線を地続き隣6軒で分配し、使用すればおおよそ月額1000円と低額になる。町の後ろ支えが必要と思うがどうか。

問 新型コロナ禍が続く中での避難所運営を問う
答 国の対応指針を参考に感染予防を講じる



清水 明 議員

答 国の対応指針を参考に、町としては避難所における徹底した感染予防対策を講じていく。

問 国は避難所における新型コロナウイルス対策として、分散避難や健康チェックなどの対策を取るよう通知したが、山北町の対応は

今年の台風シーズンの到来を前に、新型コロナウイルスの越境影響が長期化する中で避難所のあり方について心配する声があがっている。避難所は「3密」になりやすく、大規模なクラスターも発生しやすい。町として対策がどのようになっていくか質問する。



段ボール製の間仕切り

答 避難所用間仕切りとして、家族向けに6畳用ユニット、少人数用に2人用を備蓄している。また、情報を得るためのテレビ、携帯電話の充電器を用意している。

問 過去の台風の経験から町が避難所運営において新たに取組んできたことは何か。エアロポンプの購入とか、段ボール製の間仕切りの用意等はされているのか。



二人用テント型

問 岸、向原地区の人たちからは生涯学習センターへの避難は大変であるとの声を聞く。学校の開放を考える必要があると思うかどうか。

答 昨年までは、エアコンなどの空調設備や畳敷きの部屋のある避難所を開設したが、今年からは従来通りに、学校も避難所として開設する。



家族向け6畳ユニット

答 避難者とペットの住み分けや導線の分離が可能な避難所であれば、他の避難者とのトラブルを防げると考えるので、現在、ペット同行避難のルール作りを進めている。

問 ペット同行避難の対応は。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 ICTを活用した教育を日常に
答 授業に積極的に活用していく



石田 照子 議員

新型コロナウイルスの蔓延により、子どもたちは学校の臨時休業を余儀なくされ、長きに渡り学習の機会を奪われた。どのような状況下であっても、学びの機会を止めることの無いよう事前の対策が重要であると痛感し次の質問をする。

問 緊急事態宣言解除後も、今回培ったオンライン授業の技術を活かし、ICTを活用した教育を続けていくべきであると思うかどうか。

答 動画の活用や、わからないことをその場で調べることができるため、日常の授業に積極的に活用していく。



いち早く始まった三保小学校でのオンライン授業

問 専門家の派遣は、学習の遅れを取り戻すためにも、新しい学校の形を作っていく上にも重要な位置づけとなる。早急に予算措置を図り、(※)ICT支援員の設置をするべきであると思うかどうか。

答 教育環境を整えるのは町の責務であると考えため、予算措置を図っていく。
 (※)ICT支援員
 文部科学省が学校に配置を推奨する学校のICT(情報通信技術)活用を支援する専門家

問 タクシー券のシルバー定期券への利用拡大を
答 導入していきたい

本年度、高齢者福祉タクシー券(以後、「タクシー券」)が富士急湘南バス(以後、「バス会社」)の回数券にも利用できるようになった。高齢者の行動範囲の拡大が健康寿命の延伸につながることを考えると、タクシー券の利用範囲をシルバー定期券にも利用できるよう再考するべきであると思ふ質問する。

問 シルバー定期券への利用希望者にはタクシー券との差額分を出していただくことで、問題なく導入できるのではないかと。

答 バス会社からは前向きな回答をいただいているので、今後、導入していきたい。



更に便利に!町のアイデアが望まれる公共交通

問 循環バスにも利用できると更に便利になると思うが。

答 循環バスを便利に利用していただくためのアイデアはあるが、シルバー定期券への利用については、バス会社との調整の中で取り組んでいく。

原稿は、質問者本人が作成しています。

たくさんご意見いただきました 広報モニターアンケート

4月からご協力いただいている15名の議会広報モニターのみなさんに、201号のアンケートに回答していただきました。より良い広報紙となるようご意見を今後の編集に活かしていきます。いただいた回答の一部をご紹介します。

～議会だよりを多くの人に読んで
もらうためにどのような
紙面にしたらいいか～

- ◆ 専門的な用語、言葉に対して説明文があるとわかりやすい。
- ◆ 読んだ人が口コミで近所の人たちや友達にPRしていただくことが効果的だと思う。
- ◆ 紙面としては大変充実してよいと思うのですが、紙面だと若い世代が読まない。SNSで発信するなど。

～定例会の予算審議のページについて～

- ◆ 議案審議の結果の各項目内容について、一般の方は理解できないのではないかと。
- ◆ 全体的に無駄なスペースが気になる。
- ◆ スカスカしている。未完成の原稿を見せられているような印象すら見えた。
- ◆ スペースがあれば、重点的に実施したい項目などを特記するとわかりやすいのではないかと。

～表紙裏表紙について～

- ◆ もう少し中を見てみようと思わせる工夫があるといいのでは。
- ◆ 知っているお子さんが出てきたので成長を感じられました。
- ◆ 目次を太字にすると見やすいと思う。

～その他のご意見～

- ◆ 今までは単色刷りだったが、今頃から緑色を取り入れられ明るくメリハリが出てきてよかった。
- ◆ 場所や施設の写真の説明に地区名や自治会名が入っていると、少しは具体的にイメージできるのでは。
- ◆ 子育て中のママさんの井戸端会議で「ぎかおと「読んだ？」みたいな会話が交わされるといいですね。

※全集計結果はホームページに掲載しています。



問 新たな避難所対策を 答 教室の開放や地域施設を開設する



瀬戸 恵津子 議員

新型コロナウイルスは、避難所設置にも新たな対策を求められている。

感染症対策として多くのスペースが必要となる。運営にも人手が求められる。さらに福祉避難所の指定や大災害が起きた場合には、災害ボランティアセンターの設置も考えておかなければならない。台風シーズンを前に早急な準備が必要と考え質問する。

問 避難所の増設についての考えは。

答 川村小学校・山北中学校を開設する。体育館のほか教室も開放できるよう調整している。また、希望があれば地域施設も開設することも考えている。

問 地域の避難所に食料は備蓄できるか。

答 届けられなくなる可能性のある共和地区や三保地区は備蓄している。指定避難所には備蓄するが、それ以外の地域の避難所には、町で届ける。



テントを使った間仕切り

問 福祉避難所を町独自に開設しないのか。健康福祉センターは活用できないのか。

答 町内の7か所の介護施設との間において締結した、山北町災害時等における高齢者福祉施設との協定により、避難所での避難生活が困難と思われる方をこれらの施設で受け入れてもらうよう調整していく。健康福祉センターは避難所として活用することも考えている。



災害に伴うボランティアセンターの運営の演習

問 災害ボランティアセンターの開設は想定しているか。

答 大規模災害が発生し他地域からのボランティアの受け入れが困難になった時は、ホームページ等で開設に向け町民への協力を働きかける。町社会福祉協議会が、研修会を実施し、災害ボランティアの組織化の準備を進めており、現在12名が登録している。



災害に伴うボランティア活動等について学ぶ参加者

原稿は、質問者本人が作成しています。

あり方検?ってなんだ??

正しくは「議会のあり方検討委員会」といいます。

平成23年に「住み良いまちづくりのために議会改革を行う」ということを目的に発足し、以来、「議会基本条例を順守し、信頼され前に進む議会を目指して」、平成25年1月、平成31年3月の2回にわたり、審査報告を提出してきました。

今後、より一層町民の皆さんとの対話を深め、さらなる議会改革を進めるため、再度あり方検討委員会を立ち上げ、議会の「見える化、見せる化」をキャッチフレーズに、地方分権時代の中で町民の皆さんの理解を得ながら議会機能の強化を図り二元代表制の役割を果たしていくことを目的に、3つの小委員会を構成し検討を進めています。あわせて、議員の「働き方改革」も進めていきます。



湯河原町議会でタブレット活用を学ぶ



ミーティングルームで打合せする正副委員長

さっそく、その成果として、通称名で議会活動ができるようになりました。また、議員の資質向上と町民の皆さんとの意見交換、相談の場として議員控え室内に「ミーティングルーム」を設けました。

住みやすい山北町づくりを推進するためさらに頑張ります。

定数問題小委員会

定数：真に必要な定数を町民の皆さんとの対話を含め方向性を出します。
なり手不足：誰もが立候補できる環境づくりを追求します。

次世代育成小委員会

大学・高校等との交流連携の推進を図ります。
議会モニター、サポーター制度の導入へ

ICT活用小委員会

議会におけるICTの活用を検討します。
議会中継、ネット配信、タブレットの導入を進めます。



町・議会の活性化を目指す

議会における 新型コロナウイルス感染症対策



傍聴席のソーシャルディスタンス



庁舎内での注意喚起

新型コロナウイルス感染症が拡大し、県内においても複数の市町で感染例が報告されております。山北町（7月1日現在）においては感染の報告はありませんが、町内経済の状況も心配されるところであり、町民の皆さまからは不安の声も多数伺っております。

議会としては、手指消毒や咳エチケット等の感染予防対策を徹底するとともに可能な限り3つの密を避け議会活動に取り組んでおり、オンライン会議も視野に入れ、今後の議会活動にも活用することを検討していきたいと考えております。

議会は、町民の皆さまの生命と健康を守るため、議員一丸となり、「新しい生活様式」を踏まえ、町と共に新型コロナウイルス対策等に取り組んで参ります。

足柄上病院の皆様に 感謝申し上げます



新型コロナウイルス重点医療機関として、日々、治療に奮闘されている県立足柄上病院において、治療に係わる物資が不足しているとの一報を受け、去る5月18日、サージカルマスク1500枚、ビニール手袋400枚をNPO法人アシガラパートナーズに届けました。
医療物資の不足は大変深刻で、医療従事者の命を守る防護服は品薄、早急には手に入らず、不織布を使って院内で手作りしているとのことでした。
6月に入り、感染者も落ち着きを見せ始めましたが、なんといつても未知のウイルスですので、第2波、第3波を警戒し、まだまだ準備は必要です。
県立足柄上病院の医師、看護師、スタッフの皆様、お体を大切に、そして心より「ありがとうございます。」

活きいきひろば

「ピンチをチャンス」に

山北らしい学校生活を

山北中学校PTA

会長 高橋 栄治さん



令和2年度の山北中学校は、新型コロナウイルス感染症の影響により、異例の6月スタートとなりました。真新しい制服に身を包んだ新一年生の姿は新鮮にも感じましたが、2か月も経過すると中にはすっかり成長を感じ取れる生徒も見受けられました。

今年度のPTA本部役員は、会長・副会長・会計・書記を含め、5名のメンバーで活動していきます。

5月に開催予定だった体育祭は、9月に延期になりました。これまで当たり前に行ってきた行事も時期や形を変えて進めていく必要があります。そして、この先もまだ見えない脅威に不安を抱きながら、新しい生活様式・教育環境に向き合い、様々な活動に対し、保護者・地域・学校が力を合わせて取り組んでいく必要があると考えています。

このような機会をチャンスと捉え、山北町の中学生らしい、魅力あふれる学校生活を送っていくことができるように全力でサポートしていきます。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe を開催します

皆さまとの意見交換の場として開催している「おしゃべり Cafe」は、新型コロナウイルスの影響で一時中断していましたが、感染予防対策を講じた中で、7月より再開しています。8月の開催は次のとおりとなります。感染予防のため、人数調整をさせていただき関係で事前申込制となります。開催日の前日までに電話にてお申し込みください。

日時：8月20日(木) 10:00~15:00
場所：役場4階議員控室内
ミーティングルーム
問合せ：議会事務局 (75-3653)



山北中学校PTA本部役員のみなさん

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されてから2か月が経過しました。新しい生活様式を取り入れながら、少しずつ社会経済も再開し、町に元気な子どもたちの姿が見られるようになったことは嬉しく感じます。

一方で、昨年相次いだ豪雨災害。完全な災害復旧工事も終わらない中、またこの季節を迎えます。新型コロナウイルス対策と同時に、災害時の緊急避難行動や避難所のある方なども早急に整備していく必要があります。

議会も、前号から議会広報モニター制度の導入、7月からは休止していた「おしゃべりカフェ」の再開など、町民と直接意見交換をしながら、一日でも早く安心・安全な生活が送れるよう、今後も積極的に取り組んでまいります。

(児玉洋一)

議会の傍聴においでください

第3回定例会(予定)

9月4日(金)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 75-3653
議会事務局

議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
会長 富田陽子
副会長 堀口恵一
委員 和田成一

清水成明
児玉洋一
遠藤和秀